

競争入札経過調書（最低価格落札方式）

件 名 成田国際空港新第2送信所受配電設備製造据付

開札年月日 平成30年3月9日（落札決定日 平成30年3月29日）

開札場所 東京航空局

落札金額 ￥41,364,000 -

落札者 東芝インフラシステムズ（株）

予定価格 ￥73,805,763 -

積算額 ￥73,805,763 - 入札書比較価格（予定価格の100/108） ￥68,338,670 -

調査基準価格 ￥44,283,457 - 調査基準価格の100/108 ￥41,003,201 -

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	第1回入札	第2回入札	摘要
	入札金額	入札金額	
東芝インフラシステムズ（株）	38,300,000		落札
富士電機（株）	42,000,000		
（株）日立製作所	64,800,000		

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の8%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

低入札価格調査の実施概要

件名： 成田国際空港新第2送信所受配電設備製造据付

調査を実施した業者名・住所： 東芝インフラシステムズ株式会社 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

項目	内容
① その価格により入札した理由	<p>下記の理由及び企業努力により入札金額を低減した結果、今回の価格により入札を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共事業インフラ部門において空港インフラは重要な位置付けにあり、受注意欲が高い。 ・同時期手配の他物件との一元調達を計画することで、資材・物品を低価格で調達する。 ・生産高や工場稼働率の維持拡大を重要な課題としており、受注戦略的判断から一般管理費を最低限とした。
② 当該契約の履行体制	<p>設計・製造・品質管理・調整について自社グループ内において実施する。また、一部製品の製造は再委託先において実施する。</p>
③ 当該契約期間中における他の契約請負状況	<ul style="list-style-type: none"> ・東京国際空港F B-3キュービクル製造据付／国土交通省東京航空局 ・東京国際空港F B-3キュービクル用電力監視制御装置製造据付／国土交通省東京航空局 <p>ほか</p>
④ 手持機械等の状況	<p>自社及び再委託先が保有する機材を使用する。</p>
⑤ 国及び地方公共団体等から過去において受注・履行した契約件名及び発注者	<ul style="list-style-type: none"> ・函館空港受配電設備改良／国土交通省東京航空局 ・東京国際空港L-Qキュービクル製造据付／国土交通省東京航空局 <p>ほか</p>
⑥ 経営内容	<p>当局及び官公庁発注の業務を数多く手がけている。</p>
⑦ ①から⑥までの事情聴取した結果についての調査検討	<ul style="list-style-type: none"> ・本件について、工場稼働率維持等の目的から受注注力物件と位置づけ、製造に係る費用を最低限としたことにより低入札価格となったことを確認した。 ・製造に係る費用の低減については、同時期の空港向け物件との一元調達によるコスト縮減によるところが大きく、積算内訳書においても機器の構成、規格及び数量が適切に計上されていることを確認した。 ・調査対象者のこれまでの受注・履行実績において問題は見られなかった。従って、本件の履行体制についても問題はないと考えられる。 <p>以上のことにより、発注仕様に基づく適切な製造が実施可能であると判断する。</p>
⑧ 信用状況	<p>特段問題なし</p>
⑨ その他必要な事項	<p>なし</p>